

肺がんになりやすい人

次の人はとくに検診が必要な人です。必ず受けましょう。



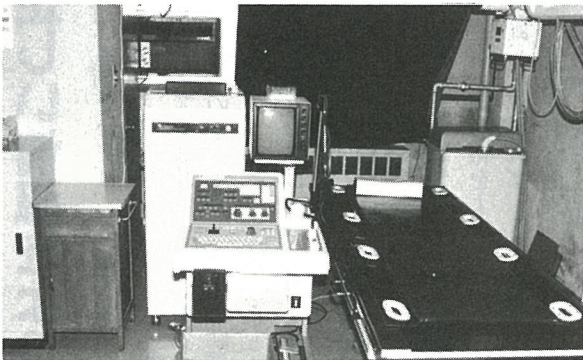
検診シリーズ

肺がん



東陽病院 医療機器充実 手術・診断に大きな威力

複合電子走査形超音波診断装置 体表から深部まで、腹部全般の診断に威力を発揮



東陽病院では、地域の皆様の健康を守るため、日夜努力を重ねているところであり、近年、外科医師の充実により、癌、胃腸病等各種の手術を実施し、多くの病める人の命を救済しています。また、東陽病院は地域の中核病院であり、より一層

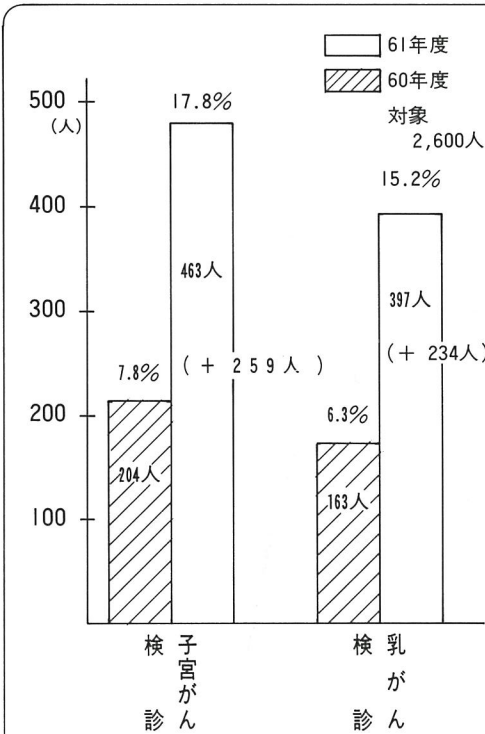
〈十年後には肺がんが第一位〉
日本は男女ともに胃がんで死亡する人が多かったのですが、検診の普及によって、早期治療が容易になり死亡率が減少しています。これに反して、肺がんが死亡する人が、極端に増えてきており、特に女性の肺がんの増加率が高く、心配されています。
肺がんの発生誘因は主にタバコです。タバコの煙の中のタールに発がん物質がふくまれているので長期間喫煙すると、多量のタールが気管支粘膜に作用して、がんを発生させるといわれています。とくに未成年期の喫煙を防止し、40才を過ぎたら検診を受けることが決め手です。

〈検診のしくみ〉
検診は、まず全員が、胸のレントゲンをとることです。これは結核のみでなく肺がんの発見にも役立ちます。
次に、たんが出るなどの症状がすでにある人は、喀たん検査を行います。これは、たんの中に、がん細胞が出現しやすいためです。
町では、秋に行う一般健康診断の時、喫煙量の多い人には喀たん検査をおすすめしています。また、希望者も受けられますので、受けたい方は一般健康診断の時に申し出て下さい。

大巾な伸び

婦人科・乳がん検診結果

7月7日、8日に実施した婦人科、乳がん検診は、多勢の方が受診され、昨年に比べ大巾な増加がみられました。これは、一人一人の健康に対する自覚が高まったことは勿論ですが、行政委員、保健活動推進員及び、農協婦人部役員の呼びかけや、各集落での検診説明会、などの影響が大きいと思われます。尚、今年初めて、婦人科と乳がん検診を同時に行った為、時間等に無理があり、受診者に御迷惑をかけた点は、今後、検討し、より受けやすいものになりたいと思います。今後も、毎年一回は、受診するようにしましょう。尚、子宮がんは、約一カ月後に結果が出ます。又、乳がんの精密検査の対象となった人は、早めに検査を受け下さい。



皆様に信頼される病院づくりを目指し、本年度三千五百万円の予算で、人工呼吸器、麻酔器、電気メス、X線装置、超音波診断装置、胆道及び気管支ファイバースコープ等の医療機器の新規購入、更新をいたします。
すでに、ほとんどの機器は購入され、各種診断はもちろん手術、救急患者の収容に大きな威力を発揮しています。
東陽病院は、地域の皆様の病院です。自分自身の健康を守るため、積極的にご利用ください。